

特別企画

・・・カイコの飼育と園児の様子・・・

カイコの飼育を通して
子どもたちはどのような
反応を示したでしょうか

- 協 力
- 本木東保育園
 - 北保木間保育園
 - 鹿浜こども園

この企画は、昨年度、栗原親子によるカラー版
「カイコの飼育と繭から糸の取り出し方」の続編です。

| |
|--|
| 1, 子どもたちの観察の様子や反応ぶり・つぶやきなど |
| <p>卵や1齢の時は子どもたちは気づかず、容器があるだけだと思っていたようです。2齢になり、くわの葉の上に白い形が見られるようになると気が付いて、年長は世話をしようとしていました。</p> <p>昨年のことを覚えている子どもたちは、カイコを手の上に乗せ、自分の手のひらで動く様子をよく見たり、くわの葉を食べる様子をじっと見たりしていました。</p> <p>20分間も見ている子どもがいました。</p> <p>マユを作り出すと、「タマゴの中に幼虫が入った!」と知らせに来る子どももいました。初めてマユ作りを経験した子どもにとっては、「タマゴの中に入ってしまう」というほど衝撃的なできごとだったようです。</p> |
| 2, 園で工夫したことや意図したこと |
| <p>2年間は大人がかなり手をかけていたので、今年は年長の子どもたちに35個の卵を育ててもらいました。5個は玄関の所で、子どもたちや保護者の見える所で育てました。</p> <p>クワの葉が身近にあると、自分たちで気づいて葉を取ってカイコにあげる姿が見られました。クワの量が不足、カイコの成長が遅れた時には、「なんで大きくなるのか?」と考えたり悩んだりする姿も見られました。</p> |
| 3, 繭をつくった後の利用方法 |
| <p>夏が終わってから、子どもたちがどのように使いたいかを、一緒に考えていこうと思います。</p> <p>マユの中のイメージができていないので、中を開けたときにどのような反応をしてくれるのか、楽しみです。</p> |
| 4, 桑の葉の入手方法やその苦労など |
| <p>昨年、園庭のプランターと花壇から芽を出したクワの木を、年長組の前の花壇に植えて育てたものを、4齢まで使用しました。</p> <p>5齢になると足りなくなってしまったので、荒川の土手に自生しているクワの葉を、職員が順番に採りにいきました。来年は、園内のクワで飼育できたらと考え、クワの木の手入れをしています。</p> |
| 5, その他 |
| <p>カイコから出てきた成虫は、大人にとっては苦手な形ですが、日々成長を見てきた子どもたちにとっては違和感はなく、触ったり手の上に乗せたりしていました。</p> |

| |
|---|
| <p>1, 子どもたちの観察の様子や反応ぶり・つぶやきなど</p> <p>いただいた卵は小さすぎるので、ある程度成長するまで事務室で保管していたのですが、はたと気が付くと机に置いた箱がありません。慌てて搜索したところ、3歳児室に箱があり、中身は無くなっていました。お菓子の空き箱を利用していたので、魅力を感じて誰かが持っていったようでした。(苦笑)</p> <p>そこで、のらえもんに連絡すると、卵に少し余裕があるということで、早速送ってくれました。</p> <p>昨年の子長児は、卵の段階からとても興味を示し観察したり世話をしてくれました。が、今年の子長児は、孵化した後もほとんど興味を示しませんでした。繭になり始めたころから徐々に興味が増してきたようでした。</p> <p>繭になってから、カイコについての質問や図鑑を見る・図鑑を見てわからないところを質問するなど、興味を持った子が数名でした。その後興味の継続が見られ、カイコについての理解も広がっていきました。</p> <p>子どもたちのつぶやきは</p> <ul style="list-style-type: none"> * 繭がいくつかくっついたものを触った友だちに、「たまご、ゆらすとおきちゃうよ！」 * 繭が固いことに気が付き、「まゆって、ほんとに強いね！」 * 「たまご、あつためないと！」 * 繭をふってみて、「はいってる！」 |
| <p>2, 園で工夫したことや意図したこと</p> <p>子どもの目につくところにカイコを置いたり、世話をしているところを見せたりして、カイコに関心が持てるようにし、子どもたちが世話をしてみたいくなる環境作りをしています。</p> <p>また、カイコの図鑑も用意して、カイコへの関心につなげたり理解を深めたりできるようにしました。</p> |
| <p>3, 繭をつくった後の利用方法</p> <p>カイコガになるまでの成長を見せるために、(子どもも見たいと希望しました)繭2つを飼育ケースで育てました。それから、「繭を切り、サナギを出して観察する」というのが図鑑にのっており、ある年長児が、「まねをしてやってみたい」というので、繭をカッターで切り、さなぎ(最後に脱皮した皮も)を取り出し、飼育ケースに入れて、カイコガになるか観察しました。</p> <p>すべて、カイコガに羽化しました。</p> <p>その他の利用方法としては、一旦冷凍してから天日干しして、繭に触れる・糸をとることもしました。</p> |

4、桑の葉の入手方法やその苦勞など

団地内にある保育園のそばに桑の木があり、昨年度は自治会長さんをお願いして桑の葉をいただいていたのですが、一度住民の方に、「勝手に採っている」とお叱りを受けたのが心に残り、また同じ事がおきると辛いので（笑）、近くの小学校に確認したところ、大きな桑の木が数本あるとのことで、今年はその小学校から桑の葉をいただきました。

2回ほど、荒川の土手にも採りにいきました。

5、その他

子どもの興味関心はそれぞれ違うので、どのタイミングで興味をもつか、こんなにも違うものなんだと驚きました。ただ、興味を持ってから急速に関心や理解が広がっていくところは同じで、環境を整えながら、子どもたちに興味を持つ時間を与えていくことが大切なのだと思います。

のらえもんの活動は本当に素晴らしいと思います。現代の生活の中ではできない体験を、この活動の中で豊に経験できることは、これから成長していく子どもたちにとって貴重な原体験になると思います。その中で、保育園では、カイコの卵とサケの受精卵を分けていただき、育て観察する機会を与えていただいていることは、通常ではできない貴重な体験をさせていただいていると思います。その活動を支えてくださっているのらえもんの皆様に感謝申し上げます。

昨年は、サケの受精卵の入手困難とのことで、とても残念でしたが、今年に期待をつなげたいと思います。

2018年度活動記録の特別企画「カイコの飼育と繭から糸の取り出し方」が、カイコの飼育や糸の取り出し方をする際に参考にしながら飼育や観察をすることができ、とても助かりました。

今後も貴重な資料として活用して行きたいと思います。

カイコの飼育の様子

鹿浜こども園ぞう組

| |
|--|
| 1, 子どもたちの観察の様子や反応ぶり・つぶやきなど |
| <p>卵からかえった頃は小さかったので、虫めがねを用意し観察しました。少し大きくなってからは、当番制で桑の葉を摘んだり、葉を洗ってちぎってあげたりを、毎日しました。</p> <p>日に日に大きくなる姿を見て、「昨日より大きくなっている!」「これ、目じゃない?」「あっ、糸が出てるー!」「ごはん(桑の葉)ですよ、いっぱい食べてね!」「こっちにもあるよ、おいでー!」など、カイコに語りかける場面がたくさん見られました。</p> <p>繭になると、「カイコは、この中で寝てる?」などのつぶやきもありました。</p> <p>蛾になると、「結婚して、卵、生むかな?」と、毎日、朝登園すると観察していました。</p> |
| 2, 園で工夫したことや意図したこと |
| <p>のらえもんに紙芝居を見せていただいたり、カイコの本をカイコのそばに置いておくと、「今、何令かな?」と、友だちどうしで調べる姿も見られました。</p> <p>定規やはかりで、長さ・重さをはかり、観察記録をとったり、いつでも観察画が描けるようにしました。</p> |
| 3, 繭をつくった後の利用方法 |
| <p>冷凍しておいたもので、小物作りをして楽しみました。</p> <ul style="list-style-type: none">* 鈴のキーホルダー* 人形* だるま |
| 4, 桑の葉の入手方法やその苦勞など |
| <p>園にも少しあるので、始めの頃はそこで対応していました。</p> <p>3令後半より、隣接の小学校からいただきました。</p> |
| 5, その他 |
| |

| |
|---|
| <p>1, 子どもたちの観察の様子や反応ぶり・つぶやきなど</p> |
| <p>日々成長するすがたを、興味関心を持って観察していました。カイコ図鑑を見て、今の成長段階を数人で確認している姿も見られました。</p> <p>また、桑の葉を入れると音をたてて、あっという間に食べてしまうのを見て、「お腹すいてたの？かわいそうに」と声をかけたり、大きさの違いにも気付き「あっ、これ、王様だ!」「あっ、こっちは赤ちゃんだ!早く食べな。」と、近くに桑の葉を置いたりしていました。</p> <p>繭作りを始めると、朝からのぞきこみ長い間観察し、「あっ、糸を出しているんだ!」「がんばれ!」と、応援していました。</p> |
| <p>2, 園で工夫したことや意図したこと</p> |
| <p>のらえもんにかいこの紙芝居を見せてもらったり、室内にかいこの本を置いていつでも園児が観察できるようにしました。</p> <p>また、興味や関心があまりない園児も、桑の葉をグループでとる役割(当番)にすることで、関心を向けることが出来たと感じています。</p> |
| <p>3, 繭をつくった後の利用方法</p> |
| <p>冷凍にしておいたもので</p> <ul style="list-style-type: none"> * 鈴をつけてブローチに * うさぎなどの置物に |
| <p>4, 桑の葉の入手方法やその苦労など</p> |
| <p>園にも少しあるので、始めの頃はそこで対応していました。</p> <p>3令後半より、隣接の小学校からいただきました。</p> |
| <p>5, その他</p> |
| <p></p> |

鹿浜こども園の繭の利用

